番 号	仕様書ページ	質　　疑　　事　　項	回　　答
1	仕様書 6ページ	「1.6.5 入力データ（国保中央会側 CSV）」のファイル容量をご教授ください。	請求件数によるためファイル容量は分かりかねます。ただし、Aは保険者ごとに1ファイル、Bは医療機関ごとに1ファイルを想定しています。
2	仕様書 6ページ	「1.6.6 出力データ（財務会計システム側 CSV、帳票出力 Excel）」のファイル項目数をご教授ください。	財務会計システム側 CSV のファイル項目数は 13 項目程度、帳票出力 Excel のファイル項目数は、12 項目程度を想定しています。
3	仕様書 6ページ	「1.6.6 出力データ（財務会計システム側 CSV）」の項目にある「予算科目コード（款項目節）」は取引先コードから判別可能でしょうか。	予算科目コードと取引先コードは別のものとなりますので、契約締結後にお示しします。
4	仕様書 6ページ	「1.6.7　コード変換ルール（一例）」について コード変換が必要なものが定義されている定義書等をご提示いただけるのでしょうか。	契約締結後、一覧をお示しします。
5	仕様書 6ページ	1.6.6 出力データの B：帳票出力について、必須項目である医療機関名称はどこから取得する運用を想定していますでしょうか。（1.6.5 入力データの B：医療機関向け支払情報 CSV に医療機関名称は保持しておりません） (例)毎月、連合会職員様が最新の医療機関マスタを取得し、マッピング・変換機能で参照するマスタを更新する。	医療機関名称は、医療機関向け支払情報 CSV の IF に保持しています。
6	仕様書 2,11 ページ	「図２．スケジュール」と「表３．成果品一覧」の整合が取れていないようです。「図２．スケジュール」が正であり、成果品の納入時期はそれぞれ以下でよろしいでしょうか。 ・要件定義書　→　令和 8 年 11 月末 ・運用試験結果報告書　→　令和 9 年 1 月末 ・システムプログラム一式　→　令和 9 年 1 月末 ・システム操作手順書　→　令和 9 年 1 月末 ・基本設計書、詳細設計書　→　令和 9 年 3 月 31 日 ・業務完了報告書　→　令和 9 年 3 月 31 日	「表３．成果品一覧」は、契約後に協議の上、納入時期を決定します。 ただし、基本設計書、詳細設計書、業務完了報告書については、令和９年３月 22 日とします。

番 号	仕様書ページ	質　　疑　　事　　項	回　　答
7	仕様書 6ページ	P2「1.2 開発の目的」に記載の「保険者向け請求情報」（CSV形式）が、P6「1.6.5 入力データ A：保険者向け請求情報 CSV」と推察します。（以下入力Ａ） 入力Ａを使って「1.6.6 出力データ A：財務会計システム 振替～受け入れデータ」（以下出力Ａ）を本システムから出力するイメージです。 入力Ａには、出力Ａの項目がすべて含まれているという認識でよろしいでしょうか。 もし、すべて含まれていない場合がありましたら、その際の運用イメージを教えてください。	入力Ａの項目のうち必要となる一部のデータを、出力Ａに変換するイメージで想定しています。
8	仕様書 6ページ	P2「1.2 開発の目的」に記載の「医療機関向け支払い情報」、P4「1.6.1-2 マッピング・変換機能　医療機関ごとの支払通知書 CSV」およびP6「1.6.5 入力データ B：医療機関向け支払い情報 CSV」は全て同一のものと推察します。 その前提のもと、予診情報・予防接種記録管理／請求支払システムのインターフェース設計書「FIF_D06_002_支払通知書（CSV）」を確認したところ、 1.6.6「出力データ」の「B：帳票出力」に記載されている「摘要（文字列）」に該当する項目が確認できませんでした。 B:帳票出力の「摘要（文字列）」の設定方法をご教示ください。	B:帳票出力の「摘要（文字列）」については、業務上必要となることを踏まえ項目を準備する想定です。契約後に協議の上決定します。
9	仕様書 7ページ	設定ファイルの変更で、軽微なレイアウト修正が可能な設計にすること と記載いただいており、また、P5 「1.6.2 業務範囲」は、保守に係る記載がないことから、貴会にて今後はレイアウト修正等を対応されることと認識しています。 仮に、レイアウト修正を受注者に依頼されたり、仕様についてご質問等される場合は、対応内容協議の上、有償での対応という認識でよろしいでしょうか。	プログラム本体を改修しない軽微なレイアウト修正については、本会で修正できる設計を想定しています。 本会で対応できない修正の場合は、対応内容を相談させていただきます。